

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 元 年 7 月 30 日

公表: 令和 元 年 8 月 1 日

事業所名 重症児デイNEST

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		ベット、マット、車椅子等を状況に合わせて配置。利用者の定員を守り、活動しやすいようにスペースを工夫しています。	利用人数が多い時はより工夫が必要。
	2	職員の配置数は適切である	6		利用者の人数・状況に合わせて配置している。マンツーマンの体制でスタッフ調整をしています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6		玄関・居室・トイレはバリアフリー。段差をなくし、手すりを設置し、利用者の安全を確保しています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		支援計画にそってスタッフ間でミーティング、情報共有を行っています。	職員全員で話し合うことは難しいが情報を共有し、参加していけるようにする。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	2	年3回の面談で実施している。	初回実施のため、今回の結果を基に、今後の改善につなげていく。これからアンケート回収。開所したばかりの施設である為、今後行うために準備している段階である。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	3		これから公開予定。開所したばかりの施設である為、今後行うために準備している段階である。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4		まだ行えていない。これから。ご家族などの声をスタッフ間で話し合い、改善が必要な事には積極的に行っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		積極的に研修に参加する意識を促し、研修の機会を確保していく。研修の案内あり。	土、日に研修が多く、家庭の事情により参加できないことも多いが、参加できる際は参加する方向で考えている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		新規の利用者ばかりのため、短い期間で経過を見て、見直しをしている。児発管を中心にスタッフ間で意見交換し、その内容をもとに作成されているので良い。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		アセスメントの実施に慣れていく。日々、勉強しながら作成していけるよう取り組んでいる。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	利用者一人一人の個性を考えながら活動プログラムを立案しています。	意見を出し合って、まとめて行っているが、チームで行ってはいない。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		利用者の状況に合わせて工夫する。季節の行事を取り入れるなどしている。	新しいプログラムも探していく。日々、活動計画を立てたものに沿って、固定化しないように配慮しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1	利用者の状況、人数に合わせて考えていくようにしている。	利用者の活動をメインに考え、個々のスキルに合った活動が行えるよう配慮しています。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	6		創作、体操、遊び、外出等楽しく過ごせるよう個々に合わせていく。長期・短期目標を設定し、それに基づき計画を立案しています。		
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	3	その日の利用者情報をスタッフ間で共有し、役割分担の確認をしています。	必ずではない。出勤時間がバラバラで打ち合わせは少人数で行う時もある。開始時に全員が揃うわけではないため、声掛けやノート等で確認。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	3		終了時、その日の職員全員が揃うことはないため、ノートや声掛け等で共有している。振り返りをすることもあり。連絡ノートを利用しているが、打ち合わせは出勤時間もバラバラで行えない。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		記録漏れに注意し、スタッフ間で支援の振り返りをして、検証、改善しやすいようにしている。	記録が不十分なところもあり、今後も徹底していく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		個々のスキルに応じた計画をたて、定期的にスタッフ間で協議しながら、ご家族との面談を行い、見直しを行っています。	新規の利用者ばかりで、障がいも重いいため、3か月毎の見直しと変化があれば適宜見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5		基本活動は徹底して行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		参画している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6		保護者、学校資料、学校との連絡調整を行っている。送迎時に教員との交友を深め、互いに情報共有できるよう努めています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6		指示書に基づきケアを行っている。医師の指示書の確認。看護指示書を必ず記入して頂くよう依頼、指示内容に沿った支援を行い、また主治医との連携を図れるよう努めています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2		まだ該当児がおらず、今後適宜実施していく。情報の提供、共有していけることが今後の課題だと考えています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	3		まだ移行児がない。今後適宜実施していく。開所したばかりの施設である為、まだそのような利用者はおられませんが、今後情報提供していけるよう体制づくりに努めます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			まだ不十分なところは今後さらに連携を深めていく。研修会に参加することで助言を学びに繋げています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	5	スタッフの子供となら有り。	これから、これから。現在ではできていないが、今後機会があれば検討していく。スタッフの子供とは交流する機会はあるが、今後もっと地域行事に参加する機会をもうけ交流機会をふやしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	2	研修、連絡会に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		利用児の記録や送迎時での報告。定期的な面談の実施。送迎時や電話、面談で実施。送迎時などご家族と積極的にコミュニケーションを図り、活動へのご理解・協力を頂けるよう努めています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	2	利用児の介護状況を把握し、必要があれば、支援できるようにしていく。面談時に行っている。	今後行っていけるよう、計画立案に努めていきます。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		送迎毎にご家族に説明を行い、ご理解頂けるよう努めています。	説明で不十分なところがあれば、適宜対応していく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		ご家族からのご相談をスタッフ間で協議し助言できるように努めると共に日々学びを増し、助言に繋げられるよう努めています。	まだ十分ではないが、今後も定期的な面談や適宜対応できるようにしていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	4		今後必要となれば、検討していく。今後行えるよう、支援体制を整えていけたらと考えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		苦情に対し、誠心誠意対応し、体制を整備、再発防止に努めています。	苦情に対し、職員間で共有し、今後の対応について検討し、対応していくよう努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	2	ホームページにて活動を掲載し、保護者へ発信しています。	月間予定表は作成しているが、会報は発行できていない。
	35	個人情報に十分注意している	6		写真の使用や情報提供は確認をして実施している。厳重な管理体制を取り、流出防止に努めています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		個々に合わせた対応が出来るよう気を付けている。個々のスキルに合った伝達方法を使用し、意思疎通しやすいよう配慮しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4		現在はできていないが、今後検討していく。今後していく？スタッフの子とはあり。今後の課題としています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	5		今後、実施していく必要あり。これから。面談にて情報収集中。スタッフ間では周知できていると思います。今後保護者へ伝えられるよう対策していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		6		今後行っていく予定。今後、実施していく必要あり。保護者から薬や栄養をお預かりしている。訓練はこれから行う予定。災害マニュアル作りをしているところです。早急に進めるべき事項です。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	1	5		今後、実施していく必要あり。研修機会があれば、参加できるよう対応しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	5		現在、身体拘束を行う例はない。今後、必要時検討。スタッフ間では周知できていると思うが、その他は不十分である為今後対応に努めていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	家族からの情報確認で対応している。早急に取り組んでいきます。	早急に取り組んでいきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		できるだけ迅速に全職員で共有できるよう努める。	スタッフで情報共有をし、再発防止に努めています。